

開講科目名 Course	租税法研究演習 1 年（鈴木先生） / Seminar on Tax Law
時間割コード Course Code	18017
開講所属 Course Offered by	法学研究科修士課程 /
開始年度・学期 Start Year・Semester	2022年度 / Academic Year 前期
曜限 Day, Period	土 / Sat 2
開講区分 semester offered	通年 / .
単位数 Credits	4.0
学年 Year	1
主担当教員 Main Instructor	鈴木 智登志
科目区分 Course Group	研究演習科目
教室 Classroom	5 3 演習室
講義形式 Lecture Style	演習科目
担当教員名 Instructor (担当教員所属名 Affiliation)	鈴木 智登志 (法学研究科修士課程)
授業の目標	税務に関する高度な専門性が求められる業務について、適正に遂行できる十分な能力を有することを実証するため、租税法及び関連する幅広い分野の専門知識に基づき研究を進め、修士論文作成に向けた基礎固めを行う。
授業の概要	租税法に関する基礎的文献の読み、判例研究、小論文作成、ゼミでの研究発表及びディスカッション等により法的思考能力を研鑽し、修士論文テーマの選定及び論文作成に向けた十分な準備を行う。
評価方法	判例研究や小論文の完成度、授業への貢献度等を総合的に勘案して評価する。
教員の指導に従わない以外の事由による失格基準	特になし。
授業計画	前期は基礎的文献の読みと判例研究を中心に進め、論文作成に必要なスキル向上を目指す。後期は修士論文のテーマ選定に向けた基礎固めと、論文作成の基礎となる小論文の完成を目指す。
テキスト	研究テーマに応じたものを使用する。
参考書	研究テーマに応じたもの。
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等	含まない
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等の内容	
実務経験のある担当教員による授業	該当しない
担当教員の実務経験を活かした授業の内容	
質問への対応方法	ゼミの時間等で随時対応する。
フィードバックの方法	適宜対応する。
予習・復習等、準備学習の内容及び時間	確実に課題をクリアし成果を挙げるためには日々継続した学習が重要であり、1日に少なくとも2時間程度の学習を要する。
使用言語	日本語
SDGs 17の目標 (1～10)	
SDGs 17の目標 (11～17)	
PROGリテラシーの要素	
PROGコンピテンシーの要素	